

「不二」二辺を離れる



光明  
遍照

永観堂九十世玄權



白は白

ならば黒は黒

本当にそうだろうか？

世間の物事

是非 善悪 優秀

あるいは 苦楽 損得も

昨日は真でも

今日は偽 ということもある

一方しか見ない

二者択一は

止めておこう

両方を忘れ

先ずはリセット

さすれば

本当のことが

見えてくる

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長 中西玄禮猊下のご染筆です。前々号の色紙は、大阪府門真市在住 木戸静子様に進呈します。ご希望の方はハガキで住所・氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

### 恩田



恩田

永観堂法主 玄禮



心はいったいどこにあるのでしょうか。頭でしようか？胸の奥でしようか？記憶というのは、どこにしまっていますか？頭でしようか？体でしようか？

田植えの時期になると、いつも思い出します。幼い頃、泥の田んぼに突っ込んだ足の感覚。そこから手を引つ張ってくれた祖母のざらざらな手の感覚。

科学的な答えとは違うでしょうが、大切なことは体が憶えています。その心の中で心が育ちます。大人になって、あのことが大切だったんだと心が気付かせてくれます。

大切なことは、周りにいくらでもあるのだと気付かせてくれます。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長 中西玄禮様下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県加古川市在住 中原靖様に進呈します。ご希望の方は八力まで住所氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し名に進呈。

五戒



薰修戒香

永観堂九十世 玄禮



何事にも言い分はある。

していいこと、悪いことの境界が

あいまいになっている。

問答無用に悪いことは悪い、とは

言にくい。

一 生き物を殺すこと勿れ。

二 他人のものを盗むこと勿れ。

三 みだらなことをすること勿れ。

四 嘘をつくこと勿れ。

五 酒に乱るること勿れ。

悪いことは悪い。問答無用に悪い。

その悪を犯してしまふ私がいる。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮猊下のご染筆です。前々号の色紙は、石川県金沢市在住 瀬戸洋子様に進呈します。ご希望の方は八ガキで住所氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

## 懺悔

慈悲  
深重

永観堂九世 玄禮



ある時、念仏が怠りがちである信者が、自分の情けなさを法然上人に問いかけてました。それに対して「そのように悲しむ嘆くこと自体が、心から往生を願っている証拠です。そんな思いがなければ、嘆いたり反省しないものです」と答えられた。私たち煩惱具足の人間だから、誰しも罪を犯します。

その悔い改めようとするとする心にこそ、私たちの中に阿弥陀佛の慈悲がとどいたあらわれなのです。

お慈悲によって己の身の汚れに気づかされ、正しい生き方へと改まっていくのです。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮猊下のご染筆です。前々号の色紙は、京都府京都市在住 梅田静子様に進呈します。ご希望の方は八方まで住所氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

離欲



離欲

永観堂九十世 玄禮



あれもこれ 金も名誉も  
欲の詰まった積荷は  
ずしりと重い

そんなに積んで  
沈んでしまったでは  
元も子もなかるう

面倒なお荷物  
さっさと 捨てたらよい

流れに任せ  
帆いっぱい  
清風受けて  
船足軽く下るは  
至福の心地

こだわりを  
抛擲する喜び  
これぞ  
無上の心地

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮宛下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県姫路市在住藤本陽様に進呈します。  
ご希望の方は八力まで住所氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

燈燈無尽 『維摩経』



燈燈無尽

永観堂九十世

玄禮



小四の千佳さんが、一人でバスに乗り、おばあさんの家に向かったときのこと。下車するとき、バスのプリペイドカードをうっかり家に忘れてきたことに気付きました。「しまった、どうしよう。財布ごと忘れてしまった」千佳さんは、下車口のところ、困っていました。

すると、後ろに並んでいた見知らぬ中年の女性が、カード挿入口に、自分のカードをさっと入れて、「これは、この子の分です。次に、私の分も入れますね」と、運転手さんに話しました。

バスから降りた後で、千佳さんはお礼を言いました。そして、立て替えてもらったバス賃を、どう返せばいいのか尋ねました。

すると、その女性は、「今度困った人がいたら、助けてあげて下さい」

燈は、次へと受け継いでいけば、消えることはありません。消えないようにしていくことができれば、いいな。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮猊下のご染筆です。前々号の色紙は、愛知県みよし市在住小野田秀正様に進呈します。ご希望の方は八力まで住所氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

真味只是淡 「菜根譚」



真味只是淡

永観堂九世玄禮



味は  
こつてりしたのが  
好きですか

辛いのが  
好きですか

でもね  
本当は

あつさりしたのが  
良いのです

ごこつてした味付けは  
かえつて

素材をこころします

人間も  
そう

本物は

普通に平凡で  
尋常なものです

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮猥下のご染筆です。前々号の色紙は、京都府京都市在住川本和代様に進呈します。  
ご希望の方は八ガキで住所氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

愛語  
あなたも私も、心安らぐ言葉



# 愛語 回天

永観堂九十世 玄禮



病院のエレベーターでの出来事。  
うちのばあさんが、エレベーターから降りようとしたときに、ちよつとよろけてしまい、持っていた杖で、たまたま隣にいた男性の靴の上から刺してしまった。体重四十キロもないばあさんの重みなんてしてれているけれど、でもその男性は、思わず声を出した。

ばあさんは、すぐに詫びの言葉を伝えた。すると、その男性は、「いやいや、うちこそ邪魔なところに足を置いてまして、ごめんなさい」と。

よろけたばあさんが悪いに違いないのに、その男性の方も、謝ってくれた。

これを、「うかつあやまり」という。たとえ自分に非がなくても謝るというのは、私も相手も心が安らいでくる。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮宛下のご染筆です。前々号の色紙は、滋賀県草津市在住 岡和子様に進呈します。ご希望の方は八ガキまで住所氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

# 感謝

頭を下げる 頭が下がる  
この違いは大きい



# 感謝

永観堂九世法主 玄禮



頭をさげるといのは、自分がさげようという意思が働いています。これに対し頭が下がるというのは、心に感動を持ちながら自然と行う姿です。

もし人と出会うなら、頭を下げる人よりも、頭が下がる人と出会いたいです。だって、うれしくなるでしょ。

そして、私自身が、頭が下がるという感性を持ち続けたのです。だって、それがなくちゃ、感謝できなくなるでしょ。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮猊下のご染筆です。前々号の色紙は、滋賀県大津市在住竹内みつえ様に進呈します。ご希望の方は八カまで住所氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

南無佛



南無  
三寶

永観堂九十世 玄禮



我昔所造諸惡業

我れ罪深き身と

知恵を得よ

我れ造れし

数多罪業に懺悔し

我れ生かす

幾多諸々に感謝し

慈悲なる心

刻々育み、布施をせよ

そして

悟り給える佛に

南無佛

教へ給える法に

南無法

護り給える僧に

南無僧

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮猥下のご染筆です。前々号の色紙は、静岡県浜松市在任尾上和永様に進呈します。ご希望の方は八方まで住所氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

「たとい人が百年、それ以上  
生きようともし、終にはこの世の

生命を捨てるに至る」

サンユッタ・ニカーヤ

諸行無常

永観堂九十世 玄禮



TVで「アンチエイジングやダイエットに納豆がいい」と放送された翌日には、店頭から売り切れたといいます。トマトという時もありました。「健康のためには死ぬでもいい」では本末転倒な笑話にしかありません。

大事なのは若さですか、長寿ですか？昔の人の方が、今の人よりも、死を素直に受け入れることができていたようです。死が身近にあった時代、死は生の否定ではなく、その帰結であるということ、人生を通して培っていたのです。

現代になって寿命が延びただけ、死と対峙する時間が長くなりました。その大切な時間をあたふたと生に執着することだけにつかっていますか。目をそらさず、拒絶することなく、死を思い、生を思う。そのためには生きるための指針だけでなく、死ぬための指針も必要なのです。

人間は生きてきたようにしか死ぬことはできません。死だけが特別なのではないのです。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮猊下のご染筆です。前々号の色紙は、兵庫県小野市在住藤木国男様に進呈します。ご希望の方は八力主で住所氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し一名に進呈。

清風  
『観経』



清風

永観堂九世玄禮



「下<sup>げ</sup>も下<sup>げ</sup>下<sup>げ</sup> 下<sup>げ</sup>の<sup>げ</sup>下<sup>げ</sup>の涼しさよ」

小林一茶

下国とは七世紀頃の法律で、一番米のとれなかつた地域のことをいいます。それも下下の下下、困窮に困窮を重ねた一茶は、貧乏きわまりない身上をこう表しました。

「何もかもなくなつて清々した。まあなんと涼しいことよ」と開き直つたのでしょうか。

いいえ、違うのです。この涼しさはお浄土から吹く清涼の風のこと。

我が身を下下の下下と受け入れた時に、十劫という途方もない昔から吹き続けていた阿弥陀様の大悲に気づくことができた、その感慨をうたっているのです。

総本山 永観堂 禅林寺

右の色紙は管長中西玄禮宛下のご染筆です。前々号の色紙は、大分県臼杵市在住村上中造様に進呈します。ご希望の方は八力キで住所氏名を明記の上、下記へお申し込み下さい。抽選し二名に進呈。